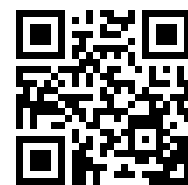


勝利の新聞



しばの勝利 連絡先 草加市北谷2-19-12

048(941)5150【FAX兼用】

ホームページ <http://www.shibano.info/>

しばのからのお知らせ

本年10月23日に投開票される、草加市議会議員選挙に立候補を予定しています。

例年ですと、事務所開きなどのセレモニーを行う予定でありましたが、コロナ禍により自粛いたしますが、10月2日より事務所を開設することになりました。（事務所住所：草加市北谷2-3-24）

お近くに来る機会がありましたら、是非お立ち寄り下さい。

また、選挙準備のため、**ボランティア**も随時募集しています。簡単な事務作業が主なお願いになりますが、短時間でもお手伝い賜れば幸甚です。安行ブロック及び西町と、地元地域の街づくりに力を注いでいきます。

何卒ご指導賜り、共に問題解決に取り組む窓口として、**ご支援**を心からお願い申し上げます。



しばの勝利の Profile

芝野勝利 55歳

草加市北谷2-19-12

家族構成：4人家族
妻、子供2人（双子の大学生）

【学歴】 県立川口東高校卒業
拓殖大学卒業

【職歴】 元 株式会社川島製作所社員
元 衆議院議員公設秘書
元 小山小学校PTA会長
現在 草加八潮保護司会副会長
現在 障がい者福祉施設理事長代行

今後の取り組み

- ◆市立病院 ……3大疾患強化、救急車搬送率の向上、緩和ケアの充実及び療養型を一部開設（草加で最期を迎える場づくり）
- ◆少子化対策 ……駅に保育ステーション設置、中学校部活動改革、学童保育の充実、乳幼児におむつ支給
- ◆バス路線整備 ……安行出羽行きを東川口駅へ延伸、苗塚・西町立野にバス路線を導入するための問題整理
- ◆障がい者施設 ……ご家族亡き後の生活拠点整備（グループホーム等）
- ◆地域コミュニティ強化 ……コロナ禍により、自粛が続いています。町会・自治会の催し等の再構築、近隣町会との連携強化

共に街づくりに賛同してくれている方々の紹介（一部掲載）

西町立野町会有志	戸塚久雄様（西町立野町会長）	北谷町会有志	谷田貝忠夫様（北谷町会長）
苗塚町会有志	内田佳伯様（苗塚町会長）	北谷2丁目有志	日高富明様（前北谷2丁目町会長）
	芹澤一人様（苗友会会長）	北谷3丁目有志	荒木仁様（北谷3丁目町会長）
	小堤富士雄様（後援会役員）	学園台自治会有志	紺野制時様（後援会役員）
小山町会有志	瀨尾橋司様（元小山町会長）		板橋三郎様（後援会役員）
	高橋義明様（元小山町会長）	原町会有志	佐藤孝郎様（原町町会長）
小山台有志	藤岡恭弘様（後援会役員）	花栗町会有志	高野富士郎様（花栗町会長）
	中里制蔵様（後援会有志）		

令和4年9月議会では決算審査を行いました

これからも引き続き、皆さまからお預かりした貴重な財源を効果的・効率的に活用する提案を行ってまいります。

— 草加市一般会計決算 —

歳入 987億7,861万円
歳出 898億9,844万円

草加市においては、市税収入が令和2年度に比べて微増となり、財源不足への備えである財政調整基金は約29億円の増加となりましたが、この基金を取り崩す形で行政運営を行っていた令和2年度と比較すると、一見良好な状況に見えますが、実態は自主財源ではなく地方交付税に依存しているところがあり、厳しい財政状況と言えます。今後も、感染症対策にかかる費用負担が財政を圧迫することが予想されるため、これまで以上に限られた財源を有効活用しながら必要な施策を推進し、感染拡大防止対策と社会経済活動との両立を図っていくことが求められます。



このような状況下において、より多様化する行政ニーズに的確かつ迅速に対応していくためには、職員のテレワーク環境の整備等により感染リスクの分散や業務の継続性を担保し、ペーパーレス化やRPAといった定型業務の自動化などの技術を活用したデジタル化を進め、事業の効率化や利便性を高めることが重要となってきます。

また、近年では人口の増加も鈍化傾向にあり、少子化が加速していることは明らかです。この先予見される人口減少や高齢化の進展による経済の縮小を最小限にとどめるため、子育て世帯を地域全体で支援する保育環境の整備や、GIGAスクール構想により配備されたタブレット端末を生かした教育現場の充実を図ることに合わせ、リノベーションによるまちづくりをさらに広げていくことで商店街の活性化や街のにぎわいを創出する施策を展開していく必要があると感じました。

— 市立病院決算 —

新型コロナウイルス対応において、市立病院の果たす役割の重要性が改めて認識され、住民からの評価も確実に高まっています。令和元年に開設された緩和ケア科の充実や、令和4年4月から新設した呼吸器外科など、がん治療の充実といった特色を打ち出すことにより、ウィズコロナ・アフターコロナに向けた取り組みが着実に進められています。直面する課題には慎重かつ柔軟に対応してまいります。

— 水道事業決算 —

料金水準の妥当性を示す料金回収率では、令和3年度は99.9%と100%を下回っております。安定した財源の確保に向け、将来を見据えた水道料金体系の構築に取り掛かる必要があると考えます。これからも市民のライフラインを担っているという誇りを持ち、水道が支える快適な暮らしを次の世代へ継承できるよう、将来にわたり安心・安全な水の供給がなされるための取り組みが推進されることを望みます。